

2021年3月3日

各 位

北越コーポレーション株式会社

木材チップ専用運搬船「Southern Ace」の就航について

当社の製紙原料である木材チップの海上輸送のため、2021年3月2日（火）に長崎県の造船所より、スクラバー（IMO Sox規制^{※1}対応設備）とバラスト水処理装置（バラスト水管理条約^{※2}対応設備）を搭載した最新の木材チップ専用運搬船「Southern Ace」が就航致しました。同船の初航海はベトナム南部のフーミー港で木材チップを積み、3月下旬に新宮港に初入港する予定です。また同船は、日本の経済安全保障の観点から、政府推進の日本船籍増加方針に応え、当社2船目となる日本船籍とし、母港を新宮港としています。

当社は、南半球に位置する合法性および持続可能性が証明された植林地で生産される丸太から製造される木材チップを調達しており、当社の木材チップの海上輸送を担ってきたHOKUETSU ACE IIの船名を一部継承し「Southern Ace」と命名致しました。同船は載貨重量が約60,000t、船倉容積が約4,300,000立方フィートの国内最大船型ながら、燃費は同船型比15%減と、チップ輸送におけるCO₂排出量を削減に大きく寄与するエコシップであり、当社では3船目となります。当社は、これからもチップ海上輸送の環境負荷削減に取り組んでまいります。

※1 IMO SOx 規制

IMO（国際海事機関）が定めるSOx規制で、船舶の燃料油に含まれる硫黄分濃度を現状の3.5%以下から0.5%以下とする国際的な規制。2020年1月より適用され、低硫黄分濃度の低い燃料油の使用、若しくは船舶への排ガス浄化設備（SOxスクラバー）の搭載・使用が必須となります。

※2 バラスト水管理条約

バラスト水（船舶のバランスをとるために船底に貯留する海水）中の水生生物の越境移動を防止するため、船舶にバラスト水処理装置を設置・使用し、バラスト水及び沈殿物の管制及び管理を行う国際条約。



以上